

# 会社説明会

【平成30年3月期決算説明】

2018年6月8日(金) 開催  
於：日本証券アナリスト協会  
第3セミナールーム  
(兜町平和ビル3階)

見つめる先は、豊かな社会。



有機合成薬品工業株式会社  
YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

証券コード：4531（東証1部）



## 目次

- I. 会社概要
- II. 平成30年3月期決算概要
- III. 平成31年3月期業績予想
- IV. 中期経営計画進捗状況

# I. 会社概要

**設 立** 昭和22年(1947年)11月4日【昨年70周年】

**事業内容** 有機合成製品、一般化学品、医薬品  
食品添加物、工業薬品等を製造・販売



# 経営理念

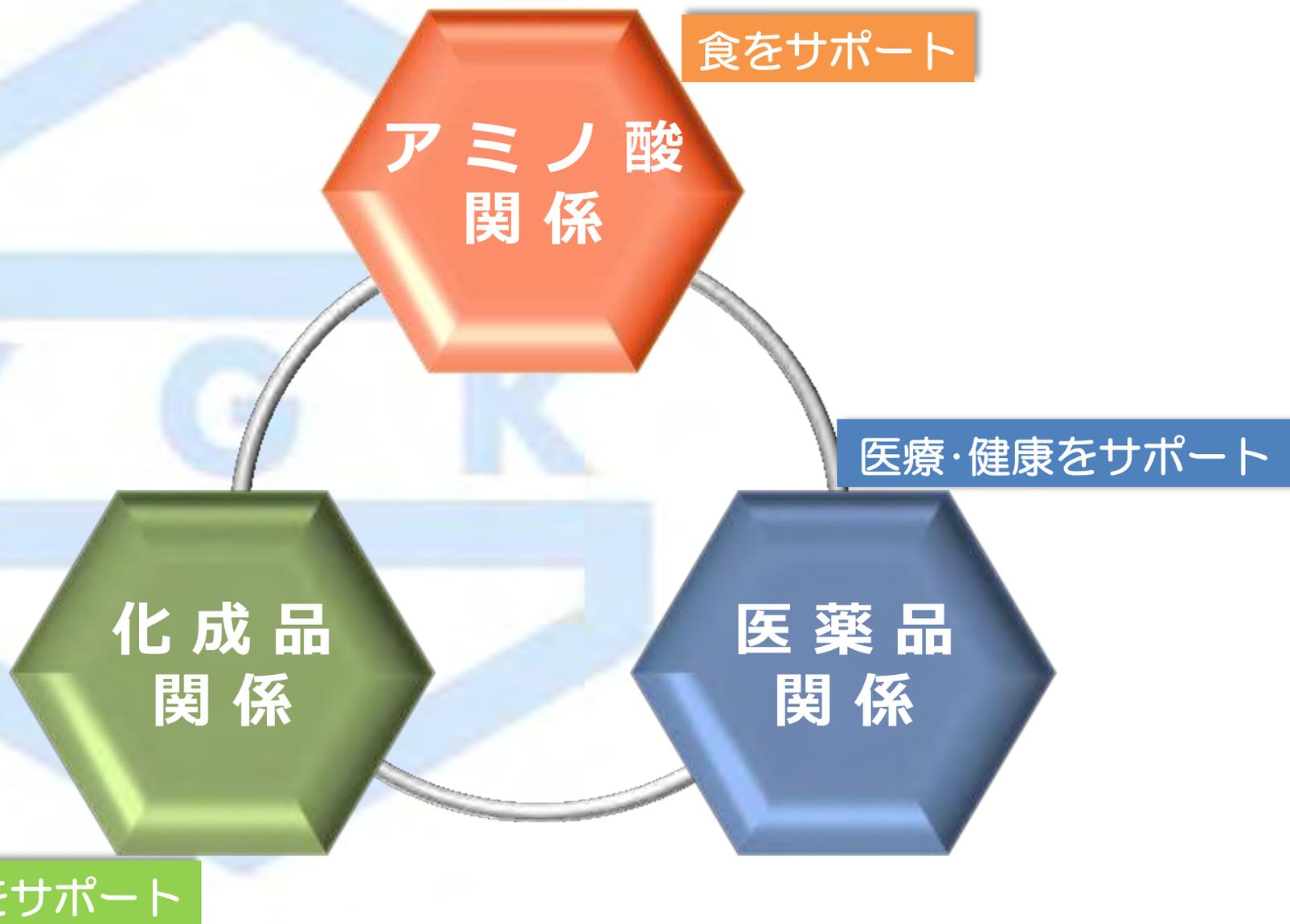
私たちはファインケミカルに機軸を置き  
叡智と技術を結集した  
真の『ものづくり』に挑戦します

創業(1947年)以来、70年以上にわたり社会に  
貢献する化学製品を提供しております。

ファインケミカル…高純度に精製された単一の化学物質で、加工度が高く、多品種・少量生産で付加価値の高いものを指します。具体的には、医薬品、化粧品、塗料、インキ等があります。



『ものづくり』で人びとの快適な暮らしを支えます。



## アミノ酸関係

# 高品位なアミノ酸とビタミンで 食品分野をサポート



### 調味料用途

- ・漬物、カップラーメン等

### 日持ち向上用途

- ・おにぎり、お惣菜等

### 着色料と香料

- ・焼菓子、醤油、焼豚等

### サプリメント

- ・運動機能改善効果等

### 輸液

- ・点滴

### 制酸効果

- ・胃酸抑制



### 洗浄剤・メッキ

- ・研磨剤等

### 農薬向け用途

- ・ミネラル含有肥料等

### 動物向け用途

- ・ペットフード、  
畜産水産飼料等

アミノ酸…たんぱく質の主要な構成成分で、①味を作る、②体の栄養となる、③体の働きをサポートする等の機能があります。



化成品関係

有機合成技術で電子産業や  
農業分野の先端技術をサポート



電子材料用表面処理剤

船底塗料用原料

農薬原料

タイヤコード接着剤用原料

ポリオレフィン触媒材料



## 医薬品関係

# 医薬品原薬・中間体で 人びとの健康をサポート



## 医薬品原薬

- ・抗ヘパリン原薬
- ・抗ウイルス原薬
- ・抗結核薬
- ・新薬原薬
- ・ジェネリック原薬



## 医薬品原料

- ・インシュリン製剤用原料

## 医薬品重要中間体

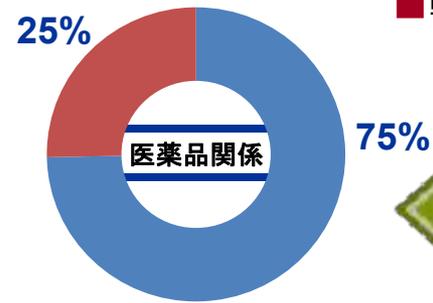
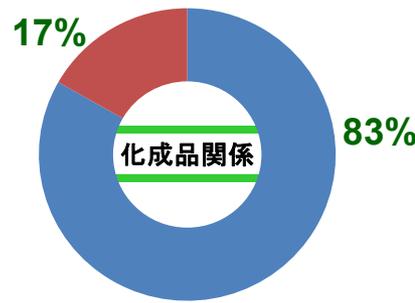
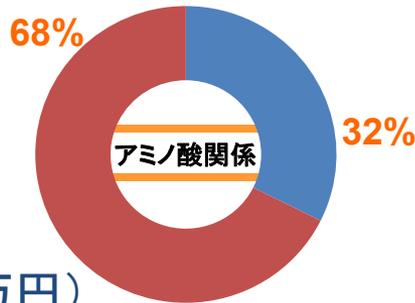
## 化粧品原体

製剤…薬の有効成分を使いやすい形にしたものです。  
原薬…製剤に含まれる有効成分です。

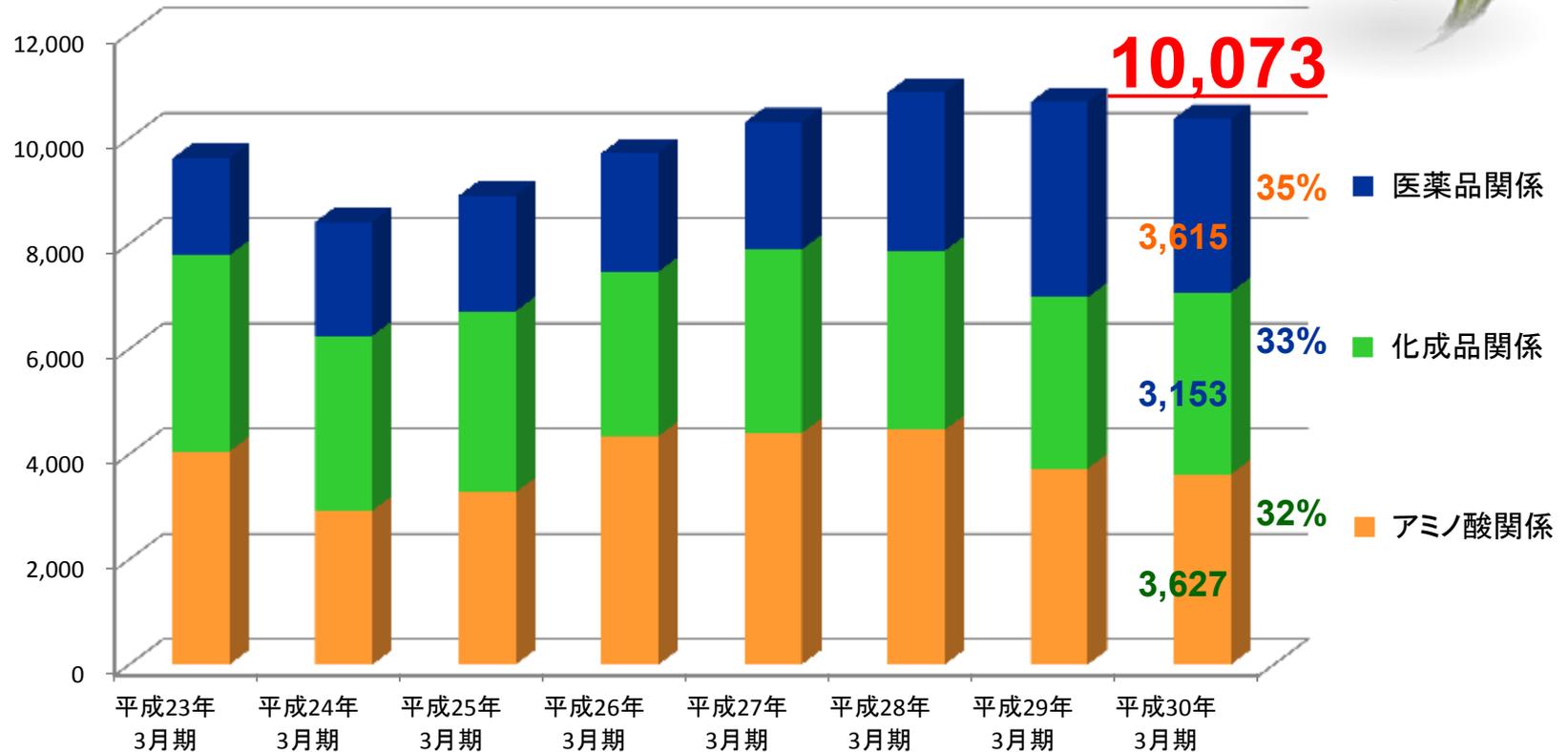
# 製品区分別 売上高推移

平成30年3月期

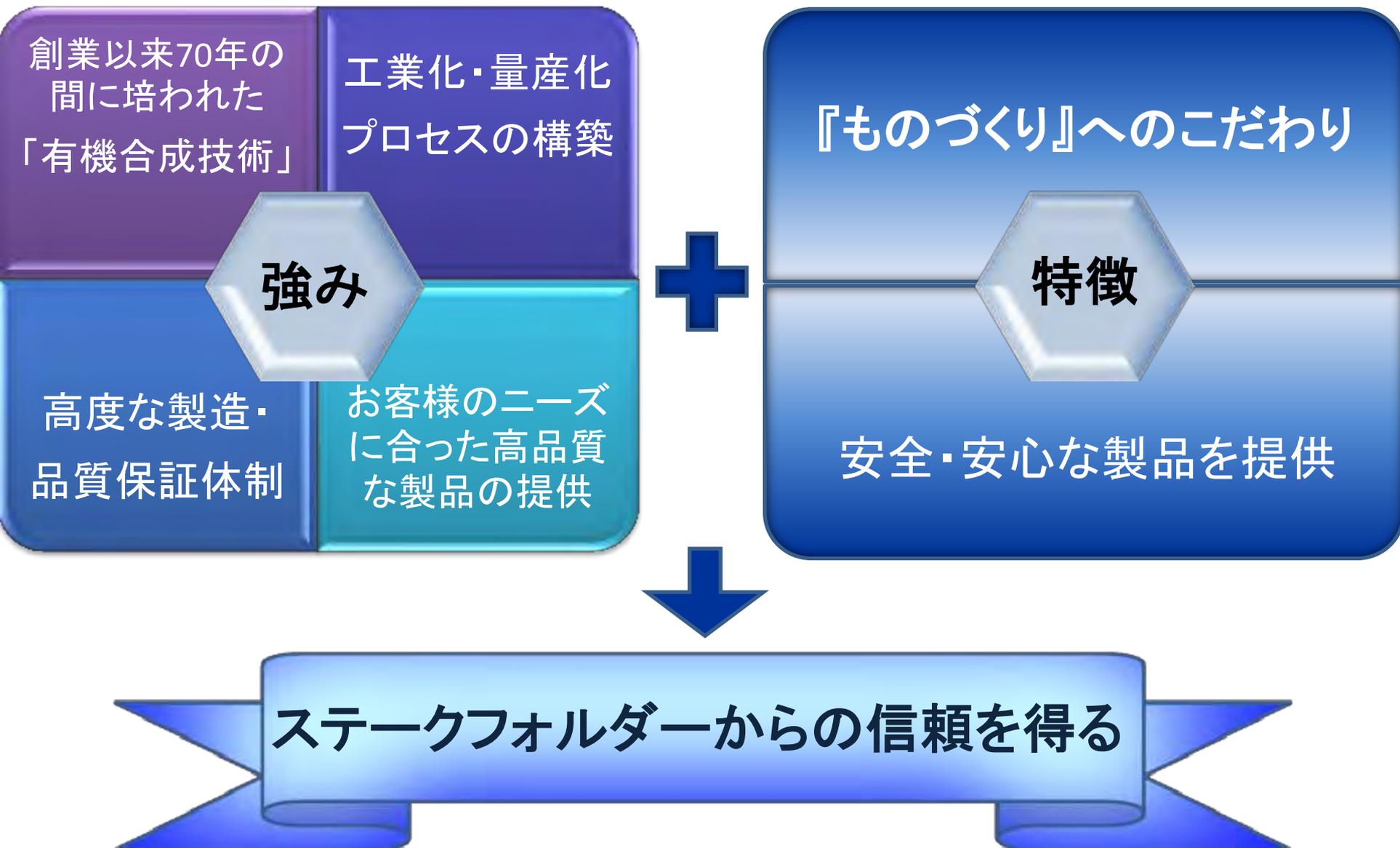
■ 国内 62.8%  
■ 輸出 37.2%



(単位:百万円)



## 強み・特徴





## Ⅱ. 平成30年3月期決算概要



## 平成30年3月期 前年度との比較

売上高は前期比322百万円の減収となりましたが、初めて4期連続で、売上高100億円超を達成しました。

〔単位:百万円〕	平成29年 3月期 (実績)	平成30年 3月期 (実績)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	10,396	10,073	▲322	▲3.1%
売上総利益	2,272	1,946	▲325	▲14.3%
販売管理費	1,817	1,740	▲76	▲4.2%
営業利益	454	205	▲249	▲54.8%
経常利益	411	226	▲185	▲45.1%
純利益	355	125	▲229	▲64.7%



## 平成30年3月期 前年度との比較

〔金額単位：百万円〕

	平成29年3月期		平成30年3月期			ポイント
	実績	資産比	実績	資産比	増減率	
資産合計	19,474	—	21,495	—	10.4%	
流動資産	8,849	45.4%	8,615	40.1%	▲2.6%	・現預金▲455
固定資産	10,625	54.6%	12,879	59.9%	21.2%	・建設仮勘定+2,100
流動負債	5,070	26.0%	5,751	26.8%	13.4%	・短期借入金+300
固定負債	3,488	17.9%	4,617	21.5%	32.4%	・長期借入金+1,063
純資産	10,916	56.1%	11,125	51.8%	19.1%	・その他有価証券評価差額+216
R O A	2.3%	—	1.0%	—	—	

平成30年3月期 製品区分別売上実績

〔金額単位:百万円〕

	平成29年 3月期	平成30年 3月期	前期比		ポイント
			増減額	増減率	
アミノ酸関係	3,627	3,516	▲110	▲3.0%	・ アミノ酸ビタミン原料 の販売が減少
国内	1,221	1,138	▲83	▲6.8%	
輸出	2,405	2,378	▲27	▲1.1%	
化成製品関係	3,153	3,363	+210	6.7%	・ 特殊触媒及び医薬用 原料等の販売が好調
国内	2,681	2,799	+117	4.4%	
輸出	471	564	+92	19.5%	
医薬品関係	3,615	3,193	▲421	▲11.6%	・ 新薬用中間体の輸出 が大幅減少
国内	2,289	2,384	+95	4.2%	
輸出	1,326	808	▲517	▲39.0%	
合計	10,396	10,073	▲322		



## 平成30年3月期 投資計画と実績

〔金額単位：百万円〕

	平成29年 3月期 実績	平成30年3月期		ポイント
		計画	実績	
研究開発費	404	470	338	・主に医薬品関係の 製品開発に投資
設備投資額	1,893	3,620	2,722	・新規医薬品設備
減価償却費	632	850	658	・前期の設備投資額 増に伴う増加

## 新規医薬品設備投資

### 高品質な医薬品原薬の安定供給を目指して

－ 2018年5月28日に竣工いたしました －

## 1. 目的

### 医薬品事業の拡大

「ふくしま産業復興企業立地補助金」  
の指定を受けております。

## 2. 設備概要

- ◆ 所在地 : 福島県いわき市
- ◆ 投資額 : 約34億円
- ◆ 建屋 : 鉄骨4階建て
- ◆ 着工 : 平成29年4月
- ◆ 竣工 : 平成30年5月
- ◆ 主要設備 : 反応槽  
遠心分離機  
乾燥機  
クリーンルーム



## 平成30年3月期 新製品開発実績

### ジェネリック原薬

原薬名 (一般名)	薬効	承認時期	ポイント	国内市場規模 (製剤)
シナカルセット塩酸塩	副甲状腺機能亢進症	2021年	新規開発品	185億円(2017年)
デュロキセチン塩酸塩	抗うつ剤	2021年	新規開発品	541億円(2017年)
他 2品目に着手	—	2021年以降	新規開発品(グローバル品目)	—

### 新薬原薬

原薬名	先発メーカー	承認時期	ポイント
トリフルリジン	国内	2014年	抗がん剤向け原薬
新薬用原薬A	国内	2015年	グローバル展開
新薬用原薬B	国内	2019年(予定)	グローバル展開(米国等)

### 化成品・医薬原料

製品名	用途	承認時期	ポイント
ピリジン誘導体A	医薬原料	既上市品	量産化プロセスの構築 (グローバル展開)
PAA-MPN	医薬原料	2019年(予定)	量産化プロセスの構築、米国向け
(R)-3-キヌクリジノール	医薬原料など	2021年(予定)	量産化プロセスの構築

## 取り組み【トピックス】

### ◆出展活動



CPhI Japan (Tokyo)に初回(2002年)から連続出展

CPhI Worldwide

2014(Paris) ・ 2015(Madrid)

2016(Barcelona) ・ 2017(Frankfurt)へ連続出展



[世界最大級の健康食品素材展]

SupplySideWest (USA) 2015・2016・2017へ連続出展

日本プロセス化学会サマーシンポジウム企業ブースへ  
2006年より連続出展

その他多数

## 2018年3月27日のプレスリリースについて

### 長瀬産業株式会社との協業のお知らせ

当社は、予てより取引のありました長瀬産業株式会社と、主力製品であるグリシンを始めとするアミノ酸事業を中心に協業関係の強化を図ることとしました。

本件に係り、同社は当社普通株式1,098,700株(当社発行済株式数の5%)を取得しました。

協業の細目が確定し業績に与える影響が確定した時点で、速やかにお知らせいたします。

名 称	長瀬産業株式会社
所 在 地	東京都中央区日本橋小舟町5-1
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 朝倉研二
事 業 内 容	化学品、合成樹脂、電子材料、化粧品、健康食品等の輸出・輸入及び国内販売
資 本 金	9,699百万円
設 立 年 月 日	大正6年12月9日(創業:天保3年6月18日)
U R L	<a href="https://www.nagase.co.jp/">https://www.nagase.co.jp/</a>



# 当社の株主構成

アミノ酸  
関係

・長瀬産業

・住友化学  
・住友商事ケミカル

化成品  
関係

医薬品  
関係

・ニプロ ・ゼリア新薬  
・大日本住友製薬 ・あすか製薬



## Ⅲ. 平成31年3月期業績予想



# 平成31年3月期の取り組み

基本方針	『世界で存在感のあるファインケミカル企業』を目指す ～「未来志向のものづくり」に挑戦～
事業拡大への 取り組み	北米・欧州・アジア地区におけるアミノ酸関係の需要開拓・発掘 医薬品関係はジェネリック原薬・中間体原料・受託のバランスを取りながら最大化を図る
将来の 収益源創出	設備投資 竣工した新規医薬品設備の垂直立上げを進め、早期に円滑な設備稼働ができるよう、万全を期する
	研究開発 ジェネリック原薬開発を中心に、アミノ酸関係の用途拡大に注力する。大学研究機関との連携も強める(オープンイノベーション)
経営基盤の強化	効率的な事業運営による収益の確保 継続的な経費削減による経営効率の向上 内部統制システムの充実

## 業績予想の概要

新規医薬品設備の完成に伴う既存ラインからの移管について、当局に対する変更許可手続きに当初想定以上の時間を要する見込みであり、本格稼働が図れない中で、減価償却費が増加するため、利益面を圧迫いたします。

〔単位：百万円〕	平成30年 3月期 (実績)	平成31年 3月期 (予想)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	10,073	10,500	427	2.9%
営業利益	205	150	▲55	▲27.0%
経常利益	226	130	▲96	▲42.5%
純利益	125	50	▲75	▲60.1%
研究開発費	338	500	162	47.9%
設備投資額	2,722	1,000	▲1,452	▲53.3%
減価償却費	658	900	392	59.6%



## 業績予想 -製品区分別-

今年度竣工する新規医薬品設備で、来年度以降の生産量及び売上高の拡大を目指します。

〔単位:百万円〕	平成30年3月期 実績	平成31年3月期 目標	増減	ポイント
アミノ酸関係	3,516	3,900	384	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競合他社との差別化</li> <li>・ 医薬・工業用途の拡大</li> </ul>
国内	1,138	1,250	112	
輸出	2,378	2,650	272	
化成品関係	3,363	3,340	▲23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内売上は微減</li> <li>・ その他前期並み</li> </ul>
国内	2,799	2,670	▲129	
輸出	564	670	106	
医薬品関係	3,193	3,260	67	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジェネリック原薬増</li> <li>・ 海外向け微減</li> </ul>
国内	2,384	2,500	116	
輸出	808	760	▲48	
合計	10,073	10,500	427	



## 配当方針

当社は、経営基盤の強化に向けて内部留保の確保に努めつつ、事業環境や経営成績を総合的に勘案し、安定的に株主の皆様への利益還元を行うことを配当の基本方針としております。

### ・期末配当金推移

平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
3.00円	5.00円	6.00円	6.00円	6.00円	3.00円(予定)

### ・配当性向推移

単位：%

平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
122.4	33.1	37.3	36.9	104.4

## 株価推移

平成30年6月7日現在 終値 292円

### ・過去推移

単位：円

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
最高	337	308	342	329	317
最低	249	236	226	212	259



# **IV. 中期経営計画進捗状況**

## **(平成28～30年度)**



# ～『未来志向のものづくり』に挑戦～



中期経営計画(平成28～30年度)

## 具体的取り組み

—基本方針—

「世界で存在感のあるファインケミカル創造企業」を目指す

●平成29年3月期(中計1年目)  
目標 107億円  
(実績:約104億円)

●平成30年3月期(中計2年目)  
目標 112億円  
(実績:約101億円)

### ①収益力改善

- ・グリシン、β-アラニンの  
アミノ酸事業を再生(再構築)
- ・グローバル展開による  
トップシェア維持・拡大

### ②新商品開発体制の強化

- ・新規医薬品設備の投資
- ・外部(官民)研究機関との協働

ヘルスケアビジネスに注力

平成31年3月期 目標

**105億円**

(中計では125億円)

過去最高の売上高

平成28年3月期  
**105億円**



## 高品位アミノ酸でのトップシェア維持・拡大

現 状

- ・食品関連  
(調味・日持ち向上)
- ・医薬関連  
(輸液・サプリメント)
- ・工業薬品  
(研磨剤・飼料)

新規用途  
の開発

新規需要の  
開拓・発掘

将 来

価値最大化

## 医薬品関係開発計画

### 原薬

	原薬名	薬効	承認時期	ポイント
①	ドネペジル塩酸塩	抗アルツハイマー	2011年	新規顧客の開拓(拡販)
②	オルメサルタンメドキシミル	血圧降下剤	2017年	新規開発品
③	デュロキセチン塩酸塩	抗うつ剤	2021年	新規開発品
④	シナカルセット塩酸塩	副甲状腺機能亢進症	2021年	新規開発品
⑤	ジェネリック原薬A	—	2025年	グローバル展開
⑥	硫酸プロタミン	抗ヘパリン	既上市品	新規顧客の開拓(拡販)
⑦	イソニアジド	抗結核薬	既上市品	新規顧客の開拓(拡販)
⑧	トリフルリジン	抗がん剤	既上市品	* )注記ご参照

\* )当社独自で開発した原薬トリフルリジンはこれまで、目薬用原薬として、欧米製薬メーカーに供給して参りましたが、新たに抗がん剤用原薬として採用され、売上が大幅に伸びています。本抗がん剤はグローバルベースの戦略商品として位置付けられており、採用頂いた製薬メーカーと協力しながら、事業展開を図っております。

### 原料中間体

	製品名	用途	承認時期	ポイント
①	ピリジン誘導体A	医薬出発原料	2014年	量産化、グローバル展開
②	PAA-MPN	医薬出発原料	2019年	海外治験薬原料
③	(R)-3-キヌクリジノール	医薬出発原料	2021年	特許取得済、グローバル新商品
④	3-アミノキヌクリジン	医薬出発原料	未定	新規顧客の開拓(拡販)
⑤	4-ヒドロキシピペリジン	工業薬品、医薬出発原料	既上市品	新規顧客の開拓(拡販)

# 研究開発: 拡販・上市計画

	既上市品	2017年度	2018-19年度	2020年度以降
<b>医薬品関係</b>  クロピドグレル硫酸塩 拡販  新薬用原薬A 商用生産	トリフルリジン グローバル対応	オルメサルタントキソミル 承認	PAA-MPN (新薬用) 承認予定	デュロキセチン塩酸塩 承認予定
	ドネペジル塩酸塩 拡販			シナカルセト塩酸塩 量産化検討中
	硫酸プロタミン 拡販			ジェネリック原薬A ラボ検討中
	イソニアジド 拡販			(R)-3-キヌクリジノール (特許取得済み)
	ピリジン誘導体A (新薬用) 拡販			3-アミノキヌクリジン 拡販
	4-ヒドロキシピペリジン 拡販			
<b>その他</b>				



  : 自社原薬(ジェネリック原薬含む)

  : 新薬原薬

  : 原料中間体

## 数値目標

〔金額単位:百万円〕

	平成29年3月期		平成30年3月期		平成31年3月期	
	計画	実績	計画	実績	計画	業績予想
売上高	10,700	10,396	11,200	10,073	12,500	10,500
営業利益	500	454	300	205	700	150
経常利益	480	411	280	226	680	130
当期純利益	310	355	160	125	420	50
ROA(%)	2.8	2.3	1.1	1.0	3.2	0.7

ROA(総資産営業利益率)…営業利益÷総資産額で算出しています。

アミノ酸関係は新興国メーカーとの競争が続き、医薬品関係は新規設備の本格稼働が図れない中で減価償却費が増加するため、厳しい状況となる見込みです。

しかしながら、アミノ酸関係は新たな用途開発により機能性と付加価値を高め、新規需要を開拓して業容拡大を図り、医薬品関係は、市場調査に基づく将来需要を掴んでいますことから、新規設備の本格稼働によって今後の業績に大きく貢献する見込みです。

# 医薬品事業のマイルストーン

新製品全体のキーワードはポートフォリオ戦略の推進

2025年まで計画立案



2021

自社原薬ニ (ジェネリック, 2025年承認)

2021年に売上高40億円

自社原薬ハ (ジェネリック, 2021年承認)

自社原薬ロ (ジェネリック, 2021年承認)

自社原薬イ (ジェネリック, 2021年承認)

原料中間体 C

2019

新薬原薬3 (グローバル品)

原料中間体 A

原料中間体 B

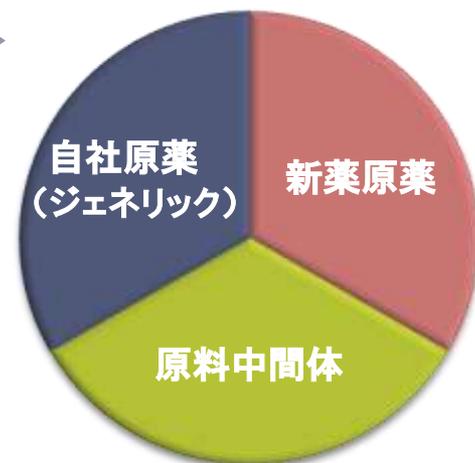
2016

新薬原薬1 (戦略グローバル品)

新薬原薬2 (国内品)

2005

ジェネリック医薬品分野に参入



バランスの取れた事業開発





## 投資計画

〔金額単位:百万円〕

	平成29年3月期		平成30年3月期		平成31年3月期	
	計画	実績	計画	実績	計画	予想
研究開発費	450	404	470	338	500	500
設備投資額	1,160	1,893	3,620	2,722	1,270	1,000
減価償却費	650	632	850	658	1,050	900



# ★当社ホームページも是非ご確認ください！



トップページ

5分で分かる“ユーキ”

事業内容

製品情報

グリシン百科

会社情報

ニュースリリース

株主・投資家情報

採用情報

お問い合わせ

サイトマップ

プライバシーポリシー

Japan | English



URL: <https://www.yuki-gosei.co.jp>



## 有機合成薬品工業株式会社 YUKI GOSEI KOGYO CO., LTD.

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

### IRのお問い合わせ先

IR窓口：総務人事部長 渡部 浩  
電 話：03-3664-3980